



ほそ まが

Interior-HOSOI mail magazine
Vol. 64

こんにちは。メルマガ64号は
まるで船舶のよう！
『塩ビタイルのカット＆施工』
のご紹介です。

塩化ビニルタイルの印刷技術は日進月歩でございます！最近ではパツと見ただけでは、本物と間違えてしまいそうになることも…！今回、そんな塩ビタイルの意匠性をさらにあげる！施工方法をご紹介します。ズバリ、【塩ビタイルの幅カット+目地棒】施工です！

塩ビタイルの幅カットとは？

■ **シンコー株式会社**さんの
“セミオーダーシステム”を活用して、
幅カットしてもらえます！

スリムになるとたちまち
スタイリッシュさが増します！

● 通常だとこのサイズが多いです

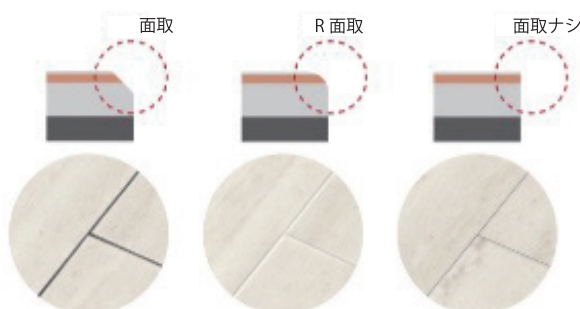


W914.5×H100×T2.5mm

↓ Hを1/2カット！



■ カットした部分は**面取り加工も可能です！**



面部分の納まりもこだわりたいところ…！
安心して下さい、お選びいただけます。

※カットできない品番もございます。
お問い合わせください！

実際に使ってみた

Q.



マスター
(お施主様)

お店が海沿いにあるので、
喫茶店を、船舶の甲板（デッキ）のように仕上げたいです。

A.



工務店さま

塩ビタイルをカットして目地棒を配置したら
いい感じになりますよ！
ホソイさん、お願いします！

お任せください！



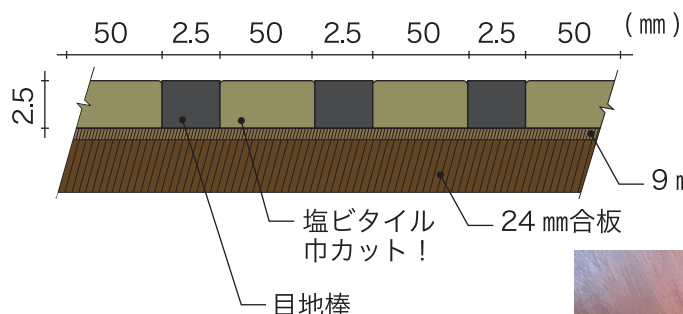
ホソイ
スタッフ



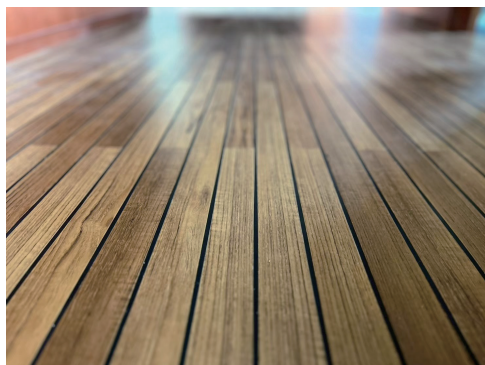
ココ！ほぼピッタリ！

更に！ココ、ポイント！

カットした塩ビタイルが綺麗に納まるよう、
大工さんが廊下幅を調整してくださいました！



目地棒はサンゲツさんの目地棒 (t=2.5mm) を
使用し、塩ビタイルとツラが合うようセレクト。



RW2244 と RW2245 のランダム張り！職人さんのセンス光ります！…痺れる施工でした！/

いかがでしたでしょうか？床材の既製品サイズを変更すると、お誂え商材かのように変化します！一味違う施工をお望みの方、是非参考にできれば幸いです♪